



岡 津



令和3年度のキーワード
「つなぐ 自らの成長を自覚し、適切に行動できる岡津っ子」

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okazu/>



学校だより 2月号
令和4年1月31日
横浜市立岡津小学校
校長 宮路 ますみ
TEL 811-4104
FAX 812-4586

「増ゆ」(冬) 「張る」(春) 「裂く」(咲く)

副校長 松谷 隆広

令和4年(2022年)がスタートしてから早いもので1ヶ月が過ぎようとしています。明日からはいよいよ2月です。暦の上では大寒が過ぎましたが、まだまだ寒さの厳しい時期です。2月は呼び名を『如月(きさらぎ)』といいます。これは「衣更着」という文字から出た名だと言われています。「衣(きぬ)を更(さら)に着(き)る月」という意味で寒さが一層厳しくなるので重ね着をしなくてはならない月ということなのだそうです。

さて、寒い冬は緑が少なく土の色が目立っています。しかし、地面の深い所には春に咲く花の球根があり土の中で暖かい春を待ち、きれいな花を咲かせるためにじっと待っています。でも、ただ待っているのではなく、植物たちは立派な大きくきれいな花を咲かせるために、エネルギーを蓄える努力をしているのです。目に見えないけれど、エネルギーを増やす努力をし、大きな体をつくる季節が「増ゆ」(冬)です。エネルギーがどんどん増えて体の中にたまってくると、体が張ってきます。その張ってくる季節が「張る」(春)です。張って張って体が耐え切れなくなると裂けてしまいます。その裂ける状態が「裂く」(咲く)ということだと聞いたことがあります。

植物に例えましたが、児童に置き換えてみても当てはまるように思います。3月が終わり4月になれば、六年生は中学生に、一年生、二年生、三年生、四年生、五年生は、一学年ずつ進級し、新しい一年生をこの小学校に迎えます。ここで大切なことは4月になれば進級することではなく、今の学年のエネルギーを体全体にたくわえてパンパンに張って、春には見事に咲き誇れるように準備万全の状態にしておくことです。寒さに負けず元気に体を動かし、一年の復習とまとめをしながら、心と体と頭脳を鍛え、一回りも二回りも大きく成長してほしいと思います。

新型コロナウイルスの感染拡大がまた広がってきています。そして「まん延防止措置」が1月21日から2月13日まで適用されました。児童には引き続いて健康や安全に気をつけて過ごしながら過ごして欲しいと願っております。そして、この1月から年度末までの3ヶ月間を新年度の準備に向け、「増ゆ」(冬)、「張る」(春)、「裂く」(咲く)ことができるように、一日一日大切に過ごして欲しいと思います。

今後とも、変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。